

意見広告

先月から子ども達の熱中症を予防するため、「運動時や屋外」に限定してマスクを外す学校が増えつつあるが、「屋内」ではマスクの着用が原則である。子ども達のマスクや黙食、ワクチンなどの感染予防対策は、今後にも必要なのだろうか？当初は「未知のウイルス」と恐れられた新型コロナウイルスも、この2年間に世界中で研究が進み「既知のウイルス」になりつつあり、様々なデータも出揃ってきた。その研究結果や厚生労働省のホームページなどに掲載されている最新データを基にした分析と見解を、専門家(井上正康 大阪市立大学名誉教授)に聞いた。

厚労省ホームページなどから考えよう

子どものマスク、屋内でも不要では？

感染予防はいつまで？

子どものマスクやワクチンを始め、「これまでに行ってきた様々な感染予防は、今後にも必要なのだろうか？」当初から「買いた見解を示し続けてきた井上正康教授は、次のように語る。「欧米諸国では被害が大きかった新型コロナウイルスも、図のようによい日本は小さな被害で済んでいます。被害の度合いに大きな差が生まれたのは、日本人が病原性の低い初期の新型コロナウイルスに早期に感染していた事や、免

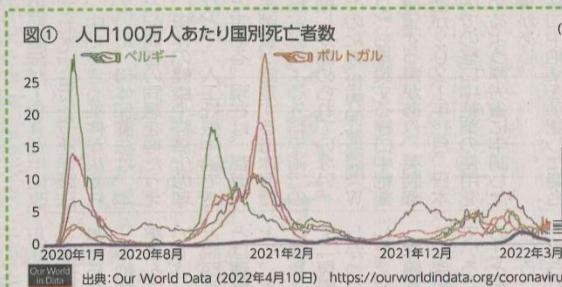
さらには国内では健康な子どもや若者が新型コロナウイルスに感染してもほとんど重症化していないし死亡もしていない。一方、新型コロナウイルスで亡くなった人の平均年齢は82.2歳(東京都発表)で、これは男性の平均寿命を上回る(図②)まま

た「見ると、70代以上の死亡者が多そうに見えるが、日本では毎年140万人前後(1日平均3800人)が亡くなっている。新型コロナウイルスの感染死2.9万人(累計)は、その2%に過ぎない(図③)。

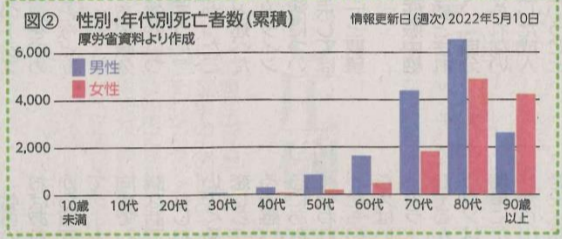
「ウイルスは変異を繰り返すたびに感染力が強くなるが、私たちの免疫力も強化されるための毒性は相対的に弱まっています。重症化しにくくなり、そのための既往歴や基礎疾患のある高齢者を中心に警戒すれば十分であり、これまでのように社会全体で過剰に警戒する必要はありません。」

「病気になることは悪いことではないが、日本に上る新型ウイルスの毒性は、上の図①で示した通りだ。しかし現在、新型コロナウイルスは指定感染症(結核、SARS-CoV-2)として扱われていて、そのためにPCR検査や「ひとごと」陽性と判定されると、子どもや学校の「休校」になったり、同僚が「濃厚接触者」として扱われたりして、周囲に迷惑を掛けたりする。日本では新型コロナウイルスそのものよりも、自分自身が「世間の迷惑者」になってしまうことを恐れている人が多い。

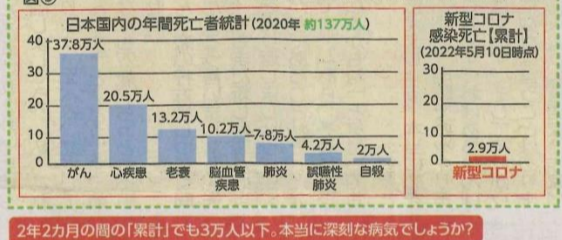
「これに関して、井上正康教授は「子どもはしゃべりながら遊ぶ、ワイワイ喋りながら給食を食べ、様々な細菌やウイルスと触れ合っているから免疫力を鍛えている。この時期は過度な感染予防で免疫力を鍛える必要はない」として、子どもはむしろ積極的に遊んでほしいと述べている。



図① 人口100万人あたり国別死亡者数 (7日間移動平均) 出典: Our World in Data (2022年4月10日) https://ourworldindata.org/coronavirus/



図② 性別・年代別死亡者数(累積) 情報更新日(週次)2022年5月10日 厚生労働省資料より作成



図③ 日本国内の年間死亡者数統計(2020年 約137万人) 新型コロナウイルス感染死亡(累計)(2022年5月10日時点) 2.9万人

マスクをしていても感染してしまう理由

コロナ禍以降、私たちはマスクやアクリル板などによりウイルスを徹底的に避けるようになったが、井上正康教授は次のように指摘する。「そもそもウイルスは、空気、水、食物、家の中や生活空間

の至る所に存在しています。その大半は人体に無害であり、私たちの体内にも無数のウイルスが共生しています。また、ウイルスは極微サイズ(1ミリの1万分の1〜10万分の1)のため、マスクと顔との

「そもそもウイルスに感染する宿命を受け入れてこそ、社会(WITHウイルス)であるにもかわらず、無症状や「ゼロウイルス」を目指し続け、人との接触や人々間らしい生活を犠牲にしているのが、日本の現状と言えるかもしれない。

「3年前を思い出しほしい。当時、私たちは「感染」という言葉を使うことがなかった。細菌やウイルスに感染しても特に症状がないなら、健康な状態(無症候性感染)であり、たとえ症状が出て重症化しないなら、別段騒ぎ立てることもなかった。仮に祖父が孫から風邪をうつされて「くっ」なるとしても、それは「寿命」として受け入れたはずであり、風邪をうつしたことを責め立てるような大人もいなかった。

ゼロウイルス(無菌)
■隔離 ■自粛 ■まん防
■三密回避 ■人流制限
■マスク ■ステイホーム
■ソーシャルディスタンス
■ロックダウン など
この方法でバリアを張れば大丈夫のはず...
ウイルス近づいてくるな!

WITHウイルス(共存)
免疫力があるから大丈夫!
ウイルス近づいてくるな!

プロフィール
井上 正康
大阪市立大学名誉教授
(分子病理学・医学博士)
感染症学、病理解剖学、分子病理学など幅広い医学知識から、俯瞰的に「新型コロナウイルスとワクチン」を分析。当初から「買いた見解を示し続け、「本当は怖くない新型コロナウイルス」など著作も多数。「ためしてガッテン」「世界で一番受けたい授業」(あるある大辞典)「ちんぷいぷい」などテレビ出演も多い。4月5日に、衆議の国会議員を対象に「新型コロナウイルスとワクチン」に関する勉強会を国会内で開催している。

教えて! 井上先生
Q マスクで気を付けることは何かありますか?
A 子どもが日頃から他人の表情を見て育つことは、脳と心の発達に欠かせません。また、マスクで口元を隠し合うと、「笑顔」でのコミュニケーションができません。人格を形成する大切な時期にマスクによって表情を隠し合っているのは、喜怒哀楽の感情を学び、感受性を豊かにする訓練が十分にできず、相手の感情を理解する力が十分に育まれない可能性があります。
また「熱中症」にも注意が必要です。学校現場では「体育でもマスク着用」が原則になっていますが、文科省は「体育の授業におけるマスクの着用は必要ありません。特に呼吸が激しくなる運動を行う際はマスクを外してください。」との指針を示しています。同様に環境省と厚労省も、屋外でのマスクの着用について、人と十分な距離が取れる場合には「熱中症を防ぐためにマスクをはずしましょう」と呼びかけています。



そろそろ「普通の生活」送らせてあげませんか?

ご支援ありがとうございました
累計寄付金額
261,399,490円
(2021年11月30日〜2022年5月30日)
累計58紙(発行部数2,406万部)に掲載

マスクについては、すでに東京都多摩市立の全小中学校で、「マスク着用をしない子ども」への配慮がなされるようになり、全国初のマスク自由化が実現しています。

この内容に関するご意見やご感想は、右記二次元コードよりお寄せください。

必見! 4,200名超の賛同コメントは下記よりご覧ください。

ホームページには、「紙面の内容を分かりやすく解説した動画」や、「おすすめ最新書籍」も掲載。また紙面のダウンロードも無料でご利用頂けますので、ぜひご利用ください。

他にも知っておきたい最新情報が満載

https://jcovid.net/
ゆうネット 意見広告 検索

意見広告

お子さんやお孫さんにワクチンを勧める前に

厚生労働省ホームページには次のような記載がある。「新型コロナウイルスワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、感染や重症化を予防する効果も確認されています。時間の経過とともに感染予防効果や発症予防効果が徐々に低下する可能性がありますが、重症化予防効果は比較的高く保たれていると報告されています。」

国民の8割以上がコロナワクチンを接種し、すでにワクチンは一定の役割を果たしたと言えるだろう。しかし子どもたちへの接種については慎重さも必要かもしれない。わが子や孫に接種を勧めるのか。その判断材料となる資料やデータは全て厚生労働省のホームページに載っている。しかしその正確な情報を知らない人は意外に多い。ここでは厚労省のホームページなどから、接種前に知っておきたい最新情報をピックアップして、今一度、未成年者の接種について考えてみたい。

ワクチン、予防接種とは ※厚生労働省HPより

予防接種とは、感染症の原因となる病原体に対する免疫ができる体の仕組みを使って、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

一般に、感染症にかかると、原因となる病原体(ウイルスや細菌など)に対する「免疫(抵抗力)」ができます。免疫ができることで、その感染症に再びかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりするようになります。

予防接種とは、このような体の仕組みを使って病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

厚労省ホームページなどから「未成年接種」を考える

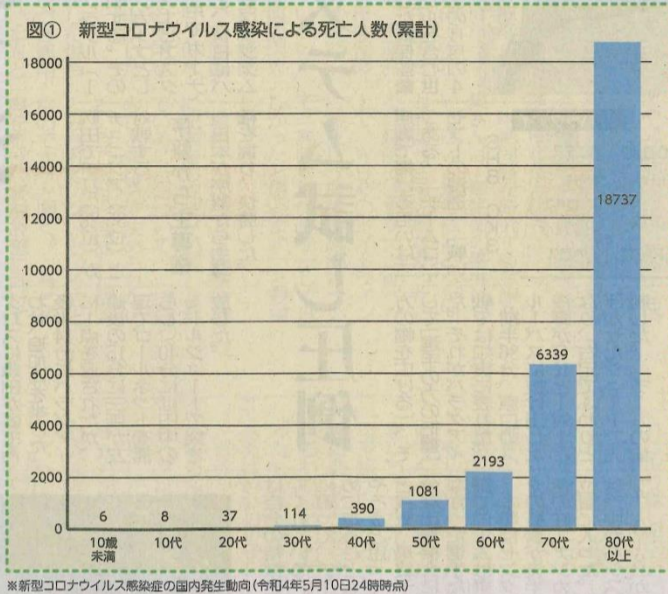
未成年者のワクチン接種後 重篤者445人・後遺症10人・死亡者6人 ※厚生労働省HPより

現在、5〜11歳のワクチン接種率は1%前後(5月13日厚労省HPより)と算出)と低いが、そもそも未成年者(0〜20歳未満)がコロナワクチンを接種するメリットは向かいにくい。

厚生労働省資料(図①)によれば、未成年者のコロナ感染死者は「これまで14人いるが、その多くが重症の基礎疾患があったことが分かっている。つまり、健康な未成年者」

「これまで新たな重篤者が出た」という点で、専門家も「現時点でも重症化する可能性はある」と発言しているが、実際は感染してもほとんどが無症状か軽症で済んでいる。未成年者(子ども)が必要なのは、厚労省のデータから読める。

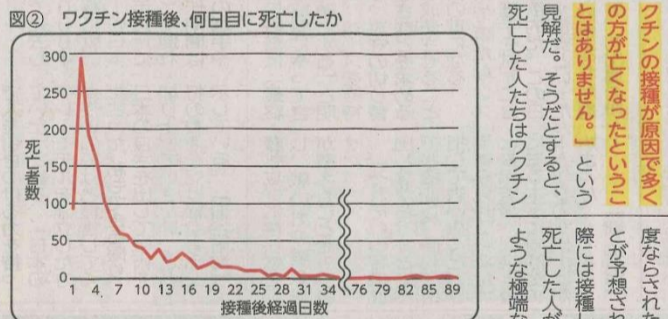
「このうち重篤者は445人、後遺症10人、死亡者は6人」



※新型コロナウイルス感染症の国内発生動向(令和4年5月10日24時時点)

健康な未成年者にワクチン接種は必要でしょうか?

「健康な未成年者にワクチン接種は必要でしょうか?」という問いに対して、大阪府や健康を語る専門家や自治体関係者からは「健康な未成年者にワクチン接種は必要ではない」という意見が多数を占めている。大阪府や健康を語る専門家や自治体関係者からは「健康な未成年者にワクチン接種は必要ではない」という意見が多数を占めている。



厚生労働省HP 新型コロナワクチン接種後の死亡として報告された事例の概要(令和4年5月13日)を基にゆうネットが作成

POINT! 厚労省HPなどから推察されるコロナワクチン2つの事象

- ① 接種後翌日までに死亡した人が250名以上いる。
- ② 接種後死亡者の主な死因は、血栓症や循環器系障害。

「ワクチン接種」が原因で死亡した人がいるのでは?

「このうち重篤者は445人、後遺症10人、死亡者は6人」

「このうち重篤者は445人、後遺症10人、死亡者は6人」

「このうち重篤者は445人、後遺症10人、死亡者は6人」

ワクチン接種と1700人超の死亡は本当に関係ない? ※厚生労働省HPより

「この統計はワクチン接種と死亡との因果関係を示唆しているのではないだろうか。」

「この統計はワクチン接種と死亡との因果関係を示唆しているのではないだろうか。」

「この統計はワクチン接種と死亡との因果関係を示唆しているのではないだろうか。」

「ワクチンの安全性は?」

「ワクチンの安全性は?」

「ワクチンの安全性は?」

「ワクチンの安全性は?」

「ワクチンの安全性は?」

「ワクチンの安全性は?」

「ワクチンの安全性は?」

「ワクチンの安全性は?」

わが子を守るの、あなただけ

活動終了のご報告と御礼

これまで弊社は、日本全国から寄せられた寄付金261,399,490円を使って、全国の新聞(累計58紙・総発行部数2,406万部)に「子どものマスク着用とワクチン接種」を考え直す意見広告の掲載活動を行って参りました。(特定の政治団体や宗教団体とは関係ありません)

活動を始めた当初から状況も大きく変わり、ようやく「マスクやワクチンに対する様々な意見」も出始め、また寄付金も全て使い切ったため、これを以って全ての取り組みを終わらせていただきます。これまで、たくさんのご支援を頂き、本当にありがとうございました。

株式会社ゆうネット 代表取締役 堤 猛

紙面の内容を分かりやすく解説した動画や、おすすめ最新書籍も掲載

https://jcovid.net/ ゆうネット 意見広告 検索

株式会社ゆうネット 新型コロナウイルス関連情報発信センター 代表取締役 堤 猛 福岡県福岡市中央区天神4-1-17 2F TEL 092-235-2470 (ご意見・ご感想はHPよりお願いします。)